

ホーム名:グループホーム(2F)

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	第二の理念を掲げて、スタッフ全員が理念を共有し実践しています。(楽しく、笑ってほっとして、思い出しっぱい作ろうね	事業所開設時に職員間で話し合っただけの独自の理念を玄関先に掲げ、常に職員が意識できるようにしている。利用者が時間に拘束されず、自由に生活できるよう支援している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域とのつながりを作りたいと思っではいるが地域の行事などに参加できていない。コロナ禍の中ふれあい喫茶と体操教室には参加できた	自治会に加入し、地域の情報を得たり行事に参加したりして、地域の一員として活動にも取り組んでいる。日々の散歩や買い物で近隣の方と馴染みとなるなど、地域に溶け込んだ生活となっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特に何もできていない			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に1回、会議をひらき、意見を聞き参加できる地域の行事があれば参加してサービスに活かしています。	運営推進会議は地域の代表として地域福祉コーディネーターや、地域包括支援センター職員等が参加して2か月毎に開催している。アドバイスや地域の情報を得られる有意義な場になっており、議事録も適正に整備されている。	他のグループホームの運営推進会議に参加したり、招いたりしてはどうか。他施設と連携することも有意義であると思われる。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	事業所単位ではなく法人として連絡をとっている	行政とのやりとりは、原則として法人を通して行っているが、事故報告の際などは直接区の窓口に向いている。地域包括支援センターとは会議などを通じて連携できている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	入職時には必ず資料を配布して虐待・身体拘束に関する勉強会をもらっている。また、年に2回以上は勉強会をおこなっている。また、日々の業務の中でも自分達の行っている事が、身体拘束になっていないかを確認し合っています。	法人と事業所でそれぞれ年2回研修を実施し、権利擁護への学びを深めている。身体拘束委員会も2ヶ月に一度適切に実施され、議事録も整えられている。	身体拘束委員会の検討事項に対して、運営推進会議で報告するだけでなく、包括職員等から助言をもらい、それを次回の委員会で共有し、ケアに反映させてはどうか。会議にもメリハリが付き、職員の意識づけにもなると思われる。	
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を年に2回以上はしている			

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>後見人のいらっしゃる入居者とは連絡を密にとり、生活の質を高めるよう努めています。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>疑問に思われるご家族とは個別に対応し、理解していただくよう努めています。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会はコロナになってから開催できていない。アンケートで意見を聞く機会は設けている。家族様が面会に来られた時は様子を話させてもらい意見交換を行っています。</p>	<p>コロナ禍でも可能な限り面会を許可している。家族と話す機会を積極的に設け、要望や意見を積極的に取り入れてケアに反映させるよう心掛けている。</p>	
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>フロア会議、全体会議を開き、意見を吸い上げ、ケアに反映させています。</p>	<p>日々の業務の中で、お互いに意見が言い合える関係が構築されている。業務の効率化を図りつつサービスが低下しないようお互いが確認し、意見を出し合っている。管理者と職員の面談も年2回行っている。</p>	
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>勤務自己評定や管理者との日頃からのコミュニケーションを通じて職員の意見や要望をうけとめるよう努力しています。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修に参加できる制度は法人内にあるが、現場レベルで参加できていない。法人内では勉強会を開いている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>法人としてはネットワークを作れているが、事業所単位では同業者とのかわりは少ない</p>		

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面接をおこない、ご本人の生活歴等の情報収集に努め、不安や要望にできるかぎりこたえるようにしています。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面接をおこない、ご家族の困り事や不安や要望にできるかぎりこたえるようにしています。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居を前提に考えるのではなく、その方に必要なサービスを提案させていただきます。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>つねに家庭的な雰囲気の中でスタッフは「自分の家族だったら」という考えでケアをおこなっています。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>常にご家族とコミュニケーションをとり、ご家族をまじえて外出したり、記念日をともにされたりして家族のきずなを大切にされたケアを考えています。</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>要望があれば遠方の親族の方に電話をかけたたりLINE電話でつないだりしています。</p>	<p>地域に密着した事業所として、利用者の友人や知人等、気軽に立ち寄れる環境づくりを心掛けている。 コロナ禍でも細心の注意を払って面会や外出を許可したり、オンライン面談を実施したりと、関係継続を支援している。</p>	
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>大きな家族としてとらえ、喜怒哀楽をまじえた生活を支援しています。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>介護サービス等についての相談、助言を必要に応じて、提供できるように努めている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話の中でご本人の希望を聞き逃さずその人らしい生活をおくっていただけるよう支援しています。	入居前には自宅に出向き、今まで過ごしていた部屋を見て、本人や家族から生活歴や現状等を聞くと共にホームでの生活の希望を聞いている。 入居後は生活の中での会話や表情、しぐさなどを記録に残し、思いの把握に繋げている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	面会にこられたご家族にお聞きしたり、好みや若かった頃のことなどお話ししていただく中で、ご本人が暮らして来られた生活環境等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に日々の状況を記載し、スタッフ間で検討し、ケアにいかしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にサービス内容の見直しするため、関係者を交えて話し合いをもち、介護計画を作成しています。	本人や家族の意向をケアプランに反映させるよう努めている。 ケアプランを見ると、誰のプランかわかるほど、アセスメントがしっかりできている。 実際も、利用者1人1人の状態に寄り添った、プラン以上のケアができています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフ全員が記録を把握したうえで実践にあたってはいるが、昨日あったことは口頭で話し合うことはできている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の思いを即、実行し、外出したり、美容院にいったりしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事は参加したいと思っはいるができていない		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医のドクターと密に連絡をとりあい、必要であれば専門医への受診などの支援もいただいています。	入居の際にかかりつけ医について家族と相談し、希望に沿った受診ができるよう支援している。 月2回訪問診療の医師による往診があり、緊急時等24時間対応可能で、看護師が週に一度訪問して健康管理にあたっている。	

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>週1回訪問看護があり、異常や健康チェックを伝え、ドクターに報告し、指示をあおいでいます。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入退院時は、医療関係者と連携を図り、情報交換や相談に努めている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>往診医とご家族との面談やスタッフとご家族との面談でターミナルにむけて連携調整をおこない、ご家族が納得できるターミナルケアに取り組んでいます。</p>	<p>入居時に「重度化した場合における看取り指針」を示し同意を得ている。 重度化した際は医師から家族に伝え、希望により職員も交えて最善の方法を検討している。 医師や看護師の協力のもと、職員は看取り研修やカンファレンスを行いながらスキルアップに努めている。</p>	
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会にて救急時の対応を学んでいます。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署との訓練や火災などの避難時の対応など話し合っています。</p>	<p>年に2回消防署立ち会いのもと、昼夜を想定した避難訓練を利用者と一緒にっており、通報や初期消火についても指導を受けている。 災害に備えて水や食料、コンロ等を備蓄している。</p>	

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人一人の人格を尊重しながら他人行儀になるのではなく、親しみをもてる言葉かけに努めています。</p>	<p>定期的に法人やホーム内で接遇研修を行っている。</p> <p>利用者への言葉かけは、人生の先輩として敬い馴れ馴れしくならないよう努めている。不適切な対応が見られた際には管理者が注意したり、職員間で注意し合っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>御自分の思いを表現しやすい環境づくりにつとめています。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>たとえば、入浴の困難な方には無理強いせず、入浴日以外でも対応したりしています。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>同じよう服ばかりではなく洋服を選んでもらって着てもらっています</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>調理に参加していただいたり、できることをしてもらっています。</p>	<p>食材業者より届いた食材を調理し、温かいものは温かく提供している。</p> <p>利用者は職員と一緒に下ごしらえや食器洗いをし、会話をしながら一緒に食事をしている。</p> <p>イベント時には利用者の好物をイベント食として提供するなど、食生活を楽んでもらっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、集会に応じた支援をしている</p>	<p>特に夏場は水分などはゼリーやジュースなどいろいろ工夫して提供しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>汚れが酷い人や磨けていない人は訪問歯科を利用して頂いています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>安易にリハビリパンツを使用せず、日中は布のパンツで尿意を感じてもらおう努力しています。</p>	<p>各居室にトイレがあり、日々の記録からパターンを把握して個別に誘導し、排泄支援をしている。</p> <p>職員は利用者の個々の状態に配慮しながら自立に向けた支援をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>ヤクルトを頼んだり、主治医と相談して内服薬で調整してもらっています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日を決めながら気分のいい時に希望に応じて入ってもらおうように対応しています。</p>	<p>入浴準備は毎日行い、週に2~3回は入浴できるように調整している。</p> <p>希望があれば回数を増やしたり、拒否が見られる利用者には時間をかけて慣れてもらい、声掛けに工夫して気持ちよく入浴できるよう支援している。</p>	

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>つかれた時や夜間睡眠が少ない時は居室で休んでいただくようにしています。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>薬局に居宅療養管理指導にはいつていただき、薬についての知識を指導していただいています。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出がお好きな方には出てもらえるように業務を適宜変更して本人にあった生活を送ってもらえるようにしています。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>個別の希望にあわせたプランにしています。</p>	<p>気候を見ながら、密を避けて、外気浴や近所を散歩する機会を大切に、利用者が外の刺激や季節を感じられるよう支援をしている。</p>	
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご本人の希望が強い場合には財布を自己管理してもらったり、買い物の際にレジにて支払いをいただいています。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご自宅に電話されたり、ビデオレターをお送りしたりしています。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内の装飾に季節感をもりこみ、行事の写真などつねに掲示しています。</p>	<p>リビングや廊下に外出やイベント時の写真や、季節の飾りを掲示し、季節を感じたり思い出を見れるようにしている。 温湿度計や空調を用い、利用者にも聞きながら体感に合わせた環境整備に努めている。</p>	
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>座りやすいソファをもうけ、入居者様どうして語らうことのできる場所になっています。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンスやベッドなど使い慣れたものをもちこんでいただいています。</p>	<p>利用者や家族の希望に合わせて、自宅の間取りに合わせて、自宅で使用していた馴染みの物等を持ち込んでもらったりして、家庭的な第2の住まいとして意識いただけるように支援している。</p>	
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーやてすりなど、環境に配慮しています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者と ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない